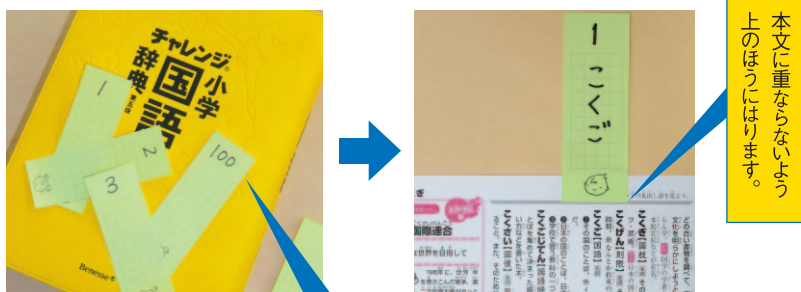


「辞書引き学習法」8つのステップ!



ふせんを用意し、番号を書きます

- ①ふせんに1から順番に数字を記入します。数字の記入は、ふせんの束ごとにまとめてやりましょう。
- ②見つけたことばを、ふせんの番号の下に書いて、辞書のページの上のほうにはっていくことを説明しましょう。
- ③番号は、その日に調べるであろう語数より多めに記入しておきます。そうすると子どもの手元に残っているふせんの番号で、調べた言葉を知ることができます。



ふせんの束をめくりながら番号を書くのは小さな子どもには少し難しい作業です。最初は、おうちの方が書いてあげるとよいでしょう。辞書のケースは使いません。ふせんを付けた辞書は本体だけを使用します。



国語辞典を開いて、知っていることばを探します

- ①辞書の仕組みを知る前に、まずは自由に好きなページを開いて知っている言葉を探し、意味を読みましょう。
- ②ぱっと開いた見開きのページに、知っている言葉がいくつ見つかるかを探してみるのもよいでしょう。



知っている言葉探しをして、ふせんを付け続けると、1ヶ月程度で、見出し語が「あいうえお」の順番に並んでいることなど、辞書の構造が自然にわかってきます。



「50音表」を説明します

- ①辞書では、たくさんのことばが「あいうえお(50音)の順」に並んでいることを覚えましょう。
- ②子ども自身が大きな紙に書き、机の前にはると効果的です。

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
		り		み	ひ	に	ち	し	き	い
		る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う
		れ		め	へ	ね	て	せ	け	え
		を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ
										お



「つめ」の機能を説明します

「つめ」(四角の目印)が「あ・か・さ・た・な…」と、続いていることを説明します。

